



(写真提供：大洗町)

今月の1枚

大洗海岸と神磯の鳥居

大洗町で生まれた日本三大民謡「磯節」の中で、「水戸を離れて東へ三里 波の花散る大洗」と歌われた大洗海岸は、どこまでも続く美しい太平洋、男性的な力強い岩礁と光り輝く白浜が特長です。茨城県北ジオパークの見どころの一つに挙げられ、「日本の渚百選」や「日本の白砂青松百選」にも選定されています。特に、岩礁に立つ神々しい「神磯の鳥居」と太平洋が織りなす景観は、圧巻です。

神が降り立った地・神磯に立つ鳥居は、海岸沿いの高台にある大洗磯前神社の鳥居の一つです。当社は、酒列磯前神社（ひたちなか市）と共に856年に創建され、古くから家内安全と航海安全の守護神として多くの信仰を集めて来ました。美しい彫刻が施された本殿・拝殿は、茨城県の指定文化財に指定されています。

月明かりに照らされた神磯の鳥居は幻想的です。水戸藩の二代目藩主の徳川光圀公は、この景観を称え「あらいその岩にくだけて散る月を 一つになしてかへる月かな」という歌を残しました。

また、元旦には、神磯の鳥居から昇る初日の出を見るために、多くの参拝客が訪れます。鳥居が朝日に照らされ、太平洋の荒波が岩礁に当たり白く砕ける瞬間は、まさに神々しい光景です。この場所は、日本を代表する日の出の名所といわれています。

大洗海岸では、毎年初日の出の時間に合わせて、大洗郷土芸能団体「磯囃子会」が演奏する「大洗町 初日の出一番太鼓」が披露されます。また、同日の朝6時から、先着400名に熱々のはまぐり汁が無料配布され、冷えた身体を温めてくれます。

この冬、ご家族、ご友人とともに、大洗海岸と神磯の鳥居が織りなす神秘的な景観をご覧になってはいかがでしょうか。

(筑波総研(株) 研究員 富山かなえ)



◆所在地：茨城県東茨城郡大洗町磯浜町
アクセス：(車)北関東自動車道 水戸大洗ICから10分
(電車)鹿島臨海鉄道大洗鹿島線「大洗駅」より徒歩15分

〈観光情報のお問合せ先〉

大洗町商工観光課 029-267-5111(代表)、一般社団法人 大洗観光協会029-266-0788